



花乱れ咲く 柏陽

恵庭市立柏陽中学校 校長室から

令和7年1月17日（金）15号

校長 前田 真志

<明けましておめでとうございます>

第4節が始まりました。生徒の間には、インフルエンザやコロナ、風邪が広がっていないようで、安心しております。

かくいう私は、体調不良のために、第4節初日に欠勤してしまい、改めて体調管理に努めなければと感じました。

生徒向けの手書き通信を発行はしたのですが、文面が開始集会の挨拶を終えての振り返り内容だったので、生徒はピンとこなかったかと思います。

改めて、伝えなかったことを以下記載いたします。

冬休み前に、皆さんに言ったことを自分（校長）も行ってみました。



「学習」「学ぶ」では、読みかけていた本を読み切りました。ドラッカーという人のマネジメント（中）です。民間企業を中心にした会社経営の考え方について書かれている本です。他には、「名画を見る眼Ⅱ」という西洋美術鑑賞の手引きとも言える本を読み切りました。ジャンルの違うモノに触れられて眼が開かされた気がしました。

「新たな言葉」では、1月13日にNHKで放送された「インタビュー ここから」という番組で、FC今治の岡田武史元日本代表監督が語っていた言葉があります。

彼は今治に10年関わり、チームを下部JFLからJ3そしてJ2へチームを引き上げました。私立学校も愛媛県今治市に創ったそうです。その中で「見通しの立たない世の中だからこそ、トライ＆エラー、ラーンが今の若い人には必要である」と。学校の生徒にもサッカー選手にも「自ら考えること」を求めています。

また、1月3日の新聞記事からは、2025年の世界情勢を踏まえて、今までの戦争の歴史を振り返ると、各国の指導者には、「自己懐疑」が必要だと、中島岳志東京科学大学教授が言われていたのも、共通するなと思いました。自分を疑ってみること、失敗したときの自分、成功ばかりではなく、客観的に自分をマイナス方向で予測することも、自律につながると思いました。

1年生は、1年間のまとめの時期を、学習と生活の両方で成長してください。

2年生は、3年生が入試等で学校を空ける時期が多くあります。新入生説明会での後輩の迎え入れをはじめ、独立した学校生活を進んで行ってください。

3年生は、公立高校入試まで登校する日は、今日を入れてあと32日、卒業まであと40日です。一日一日悔いなく過ごしてください。最大の努力をして「人事を尽くし天命を」待ってほしいと考えます。

という内容です。

第4節も保護者・地域の皆様の本校教育活動への、御理解御協力をお願い申し上げます。